

令和5年度第2回鳥取県中部保健医療圏地域保健医療協議会議事録

- 1 日 時 令和5年11月14日(水) 14時～15時30分
- 2 場 所 公益社団法人鳥取県中部医師会 講堂(倉吉市旭田町18番地)及びWEB開催(webex)
- 3 参加者 合計37名(委員 13名、オブザーバー 19名、事務局 6名)
※来場 8名、WEB 23名

4 内 容

(1) 会議の成立

協議会委員(全体会・医療部会)18名中、13名の参加のため、鳥取県附属機関条例第5条により、会議成立。

(2) 協議及び報告事項

ア 令和6年度地域医療介護総合確保基金(医療分)について(資料2)

- ・事務局より地域医療介護総合確保基金の概要について説明。
- ・中部圏域での提案メニューについて県立厚生病院 花木院長より説明。

《質疑応答》

- ・(安梅委員)超音波装置を何台購入予定か。それぞれの費用は？
- ・(花木委員)各1台。費用はそれぞれ半分程度となる。

⇒その他、質疑なく厚生病院の提案メニューについて合意を得た。

イ 中部圏域の地域医療構想について(資料3)

- ・医療機能ごとの病床数と必要病床参考値との乖離があるが、高度急性期病床については、1病院に集約しており、余力を持った確保が必要。急性期・回復期病床については、各病院で柔軟な病床運営を行っていると推察され、新興感染症発生時の対応等に備え、余力が必要と考える。また、在宅医療・介護の受け皿が劇的に増加するとは考えにくく、引き続き状況をみていきたい。今後も適切な医療提供体制の構築について各医療機関でご検討いただくこととし、具体的対応方針について合意を得たい。
- ・鳥取県立厚生病院経営強化プランについては後日事務局より照会させていただく予定。

《主な質疑応答》

- ・(安梅委員)在宅医療の受け皿についてはどうか。また、在宅療養支援診療所の医師も委員に含めるべきではないか。
- ・(事務局)訪問看護ステーションでの24時間対応・大規模化の問題があり、在宅療養支援診療所が圏域内で減少傾向にある。訪問診療の需要の全てを在宅医療では対応しきれない可能性もあり、慢性期病棟を一定程度確保する必要があると思われる。また、在宅療養支援診療所の医師については、部会の一部では委員に就任していただいている。

《魚谷地域医療アドバイザー助言》

- ・地域で同意が得られているのであれば特に意見はなく、齟齬が生じた時に協議すれば良い。

⇒地域医療構想に係る具体的対応方針について同意を得た。

ウ 第8次鳥取県保健医療計画について(資料4)

- ・令和5年度中に策定予定の県保健医療計画の一部として策定予定。部会での意見と対応方針を資料4-2、意見照会と対応方針を資料4-3に記載した。本会議で素案(資料4-4)について合意が得られれば、県医療審議会に提出したいので審議いただきたい。

《主な質疑応答》

圏域の分娩体制について

- ・(安梅委員) 周産期で分娩対応が2施設あるが、クリニックでも24時間対応か。代診の仕組みはないか。
- ・(事務局) 24時間対応と思われる。代診の仕組みについては把握していない。災害時のBCPを策定予定となっており状況を把握したい
- ・(花木委員) クリニックと連携し、リスクの高い分娩を厚生病院で受け入れている。厚生病院でも対応が難しい場合は、西部・東部に搬送している。
- ・(安梅委員) クリニックへの援助が必要ではないか。検討してもらえたらよい。

歯科検診について

- ・(安梅委員) 若い人は歯科検診を受けに来るのか。
- ・(明島淳吾委員) 40代以降の節目検診の方が多い。若い人にもアプローチできれば良い。
- ・(船橋委員) 協会けんぽとしてはまだ歯科検診に対して勸奨していない。
- ・(倉吉市) 節目の年齢の人には受診券を発送している。保健師の健康指導では検診を呼び掛けている。

こころの健康づくりについて

- ・(小石委員) 健康日本21(睡眠・休息が取れていない人の割合等についてのデータあり)を踏まえて睡眠に関する現状を加えても良いのではと感じた。
- ・(事務局) データを確認し、記載について検討したい。

健康寿命の指標について

- ・(石亀委員) 市町村への健康寿命のデータ提供となるが、どのような指標か。
- ・(事務局) 要介護2以上を不健康とした場合の健康寿命の指標である。
- ・(安梅委員) 広域連合で介護を行っているが、健康寿命の比較ができるのではないか。

へき地での移動手手段の確保について

- ・(安梅委員) タクシー・バスの運転手不足で今後へき地の高齢者が困るのではと危惧される。高齢者が救急要請をしてしまうのでは。
- ・(石田委員) 救急搬送件数は右肩上がりとなっている。民間救急も活動しているが、金銭的な問題があり、うまく移行できていない。

⇒事務局において睡眠に関するデータについて検討したものを中部保健医療圏地域保健医療計画(案)として医療審議会に提出することで合意を得た。